

2025年8月29日

AI サービス導入による疑わしい取引のモニタリングの効率化・高度化について ～マネー・ローンダリング、金融犯罪対策の強化～

足利銀行（頭取 清水 和幸）は、このたび、マネー・ローンダリングや金融犯罪への対策を強化するため、SCSK RegTech Edge 株式会社（代表取締役社長 増田 秀穂 以下、「SCSK-RE」）が提供する「BankSavior Monitor」の「AI モデル」と株式会社マネー・ローンダリング対策共同機構（代表執行役社長 阿部 耕一 以下、「共同機構」）が提供する「AI スコアリングサービス」を導入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、特殊詐欺やマネー・ローンダリングなどが疑われる取引の検知に SCSK-RE の取引モニタリングシステム「BankSavior Monitor」を活用し、担当者が顧客属性や取引態様、過去の事例などをもとに「疑わしい取引の届出」の可否を判定しております。今回導入する同システムの「AI モデル」を活用し、従来のルール（不正パターン）では難しかった不正取引の検知が可能となり、巧妙化・多様化する金融犯罪への対応を強化いたします。さらに、AI 技術で疑わしさのレベルをスコア化する共同機構の「AI スコアリングサービス」を導入することで、判定業務の効率化を図ってまいります。

当行では、今後もお客さまの大切な資産を守るため、さまざまな対策強化に取り組んでまいります。

記

1. 取引モニタリングシステム BankSavior Monitor の「AI モデル」の概要

SCSK-RE が2024年7月より提供開始し、「BankSavior Monitor」にオプション機能として搭載されています。あらかじめ設定したルール（不正パターン）とは別に、全取引のリスク度合いをスコア化し、過去取引を学習することで高精度な不正取引の検知が可能になります。当行では、2024年11月より本システムを導入し、取引データの学習・蓄積を重ね、利用開始に向けた準備を進めてまいりました。

2. 「AI スコアリングサービス」の概要

共同機構が 2025 年 4 月から提供するサービスで、金融機関が利用する取引モニタリングシステム等と連携して活用することができます。当行では「BankSavior Monitor」と連携し、ルール（不正パターン）により検知した取引のリスク度合いをスコア化し、誤検知を含む大量の検知について業務効率化を図ります。

以 上

(別紙)

<株式会社マネー・ローンダリング対策共同機構の概要>

所在地	東京都千代田区丸の内一丁目3番1号 銀行会館
代表者	代表執行役社長 阿部 耕一
事業内容	為替取引分析業、為替取引分析関連業務
ホームページ	https://www.caml.co.jp/index.html
株主構成	一般社団法人全国銀行協会 100%

<SCSK RegTech Edge 株式会社の概要>

所在地	東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア
代表者	代表取締役社長 増田 秀穂
事業内容	為替取引分析業および為替取引分析関連業務ならびにこれらに附帯関連する事業
ホームページ	https://scsk-re.co.jp/
株主構成	SCSK 株式会社 100%

以 上